

一般社団法人 日本医学物理学会
平成 25 (2013) 年度 第 4 回理事会議事録 (抄)

日時:平成 25(2013)年 11 月 16 日(土)12:00-16:45

場所:首都大学東京 秋葉原キャンパス 会議室 B

出席者:遠藤・松本・新保・荒木・小口・奥村・齋藤・榮・西尾・福田・門前(理事)、福村(監事)

欠席者:櫻井(理事)、金井(監事)

参会者:福士・和田(大会長)、赤羽・尾川・小泉・蓑原(委員長)、乳井(総務委員)

議題:

1. 前回議事録の確認
2. 新入会員・退会者の承認
3. 倫理に関する細則・個人情報保護に関する細則
4. 科研費対応 ad hoc 委員会の構成
5. RPT 誌の冊子体配布の任意化について
6. 選挙管理委員会報告
7. 第 106 回大会報告
8. 第 107 回(、108 回、109 回)大会の準備状況報告
9. 委員会報告
10. 医学物理士認定機構の現状について
11. その他

資料:議案書冊子

席上配布:資料 8-1(第 107 回大会資料綴り 1 点)

資料 9-6(国際交流委員会資料 1 点)

議事

出席者・参会者、定足数確認の後、会長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。

1. 前回議事録の確認

資料により前回理事会(9月16日)議事録案を通読・確認し、原案通り承認した。

2. 新入会員・退会者の承認

資料に基づき、庶務理事より9月1日-10月31日の入退会・資格変更が報告された。審議の結果、原案通り承認した。これにより10月末時点の会員総数は2,141名となった。

3. 倫理に関する細則・個人情報保護に関する細則

資料に基づき、副会長より再度主旨説明と前回の議論を受けて更改された箇所の説明がなされた。

倫理細則は学会に申告・報告を要する基準が別表として示された。

これにつき出席の大会長より、申請書の様式・提出先・義務度について質問あり。これに対して同じく出席の委員長より、理事・幹事・代議員就任の際には提出を義務付けているという他団体の例が紹介された。この扱いは当学会においても然るべきものとして承認した。なお様式については、他団体の例等を斟酌しつつ、副会長のもとでの作成を一任した。

また庶務理事より「年間」の定義につき問題提起がなされ、これは「学会の年度」を基準と考えるという見解にまとまった。

さらに出席委員長より、奨学寄附金には共同研究費も含むかという確認あり、これは含むという理解で合意した。

個人情報保護細則では毎年度定常的にある学会外への会員情報提供の扱いが附帯決議として示された。

これについては、現行のマイページ等のありようが細則と不整合を来さぬよう検討を加えた。

慎重審議の結果、両案の文言の一部を修正の上、本日付制定・来年度初施行を決議した。

なお倫理細則に規定される倫理審査委員会の外部委員については、理事会での候補推挙を求めたがこれがなかった。そこで事務局にて心当たりのある候補に、包括的顧問契約ではなく同委員のみの委嘱として打診することを可とした。

4. 科研費対応 ad hoc 委員会の構成

資料に基づき、同委員長より経緯説明・報告がなされた。当該細目の設定は大きなインパクトありとアピールした結果新設(再設)に至ったことが説明され、会員への周知と応募促進に努力し、巷間言われる応募100件というハードルを、応募がうまく収斂して越えられるように計らうべきことが指摘された。研究者番号が取れない施設にいる会員や研究者番号が取れるのにそれを知らない会員に対するケアなどが必要であるとの課題が指摘され、これに対して積極的なケアをなすべきとの認識を共有した。

以降は、来春大会のセッションに本件を組込むこと(既に実行委員会・教育委員会で検討中)、アンケートを実行すること(ネット回答可の形式で)を検討することとした。

なお前回理事会以降、既に一度の会合を持ち、そのメンバーを主とした委員候補が挙げられ、全員を承認した。

5. RPT 誌の冊子体配布の任意化について

資料に基づき、会長からこれまでの経緯が報告された。本年半ば以降 JSRT においてこの実現についての動きが急で、JSRT 側と打合せの機会を持ったこととその結果が報告された。JSRT においては経費削減のため会員に対して「冊子入用の会員は申告すべきこと(≒印刷部数の大削減)」と決定したことが判明し、これがため JSMP の経費負担が過重にならないように協議した結果が報告された。発行経費の負担を、従来の<印刷部数按分>から<会員数按分>基本に変更することである(発送については実数ベース)。

これを受けて担当理事から、電子版を含めた印刷数の大小によるシミュレーションが報告され、JSMP では「冊子不要の会員は申告すべきこと」を基本とすることが提案された(重複会員の扱いについては要協議課題を残す)。出席者からは、職場環境によっては閲覧に制限のある会員も多数見込まれることから、上記方針を支持する発言もあり、上記を可とした。

ただし、本件は会員の権利の重大な変更にあたるので、十分な期間をもって全会員必達を期して周知すべきこと、学会からの「経費節減協力依頼」などとして主旨を十分に説明する書簡を発するなどの措置を取ることとした。

なお会長より、本件はまだ流動的な部分があるので、必要によってはメール審議を諮る可能性のあることが指摘された。

6. 選挙管理委員会報告

資料に基づき、欠席の選管委員長に代わって庶務理事から代議員選挙の経緯と結果が報告された。開票の際に再集計を要した事案(投票期間中の候補者所属変更あり、この結果コンピュータが別人として集計した)については、次回から投票期間中の変更は行わないこととした。

また代議員選挙は、会長・選挙管理委員長名で既に結果が公表され、当選者・落選者に個別に通知を発したことが報告された。理事会はこれを承認した。

さらに、11日より理事・監事候補立候補届の受付が始まり、事務局に届け出が集まっていることが報告された。学会諸規程で規定している「3期連続」の解釈について、任意団体・法人化の移行期については1期として算定すべきことを確認した。

なお投票連記数の適正性を検討するため、次回理事会に候補者名を略した得票順位・当落線を提示すべきこととした。

7. 第106回大会報告

資料に基づき、第106回大会長より、参加533名、一般演題112題、賞2種都合17件、収支結果1,825,704円黒字の報告がなされた。

その他の意見として、国際スクールに関しては予め理事会等で周知して頂きたかったとの意見があった。

また会計報告に関しては、雑費の謝礼の表記につき一部を修正することとした。

最後に大会初日に行った市民公開講座は90名弱の参加者がありとても好評であったとの報告があった。

8. 第107回(、108回、109回)大会の準備状況報告

<第107回大会>

資料に基づき、第107回大会長より現況の報告がなされた。11月15日現在178題の一般演題登録があった。合同シンポジウムのタイトルについて、さらに適正な表現にすべきとの指摘あり、これに応じることにした。また

表中の医学物理士会主体の就職説明会は、正確には進学・就職説明会であることを確認した。この部分は JCMP・JASTRO 共催であり、この旨 JRC に十分の了解を取るべきことが会長から指摘された。

今回、RPT 誌優秀論文受賞講演は JSMP が担当であるため榮先生が中心になって現在準備が進んでいる。また合同シンポジウム 2 の題目は、「医療被ばくの低減と正当化のバランス」から「医療被ばくの低減と正当化・最適化のバランス」と改めることとした。

最後に大会 3 日目(4/12)の 19:00 から医学物理士会 25 周年祝賀パーティが開催されるとの報告があった。

<第 108 回大会>

会長・国際交流委員長より来秋韓国開催の JKMP の日本側運営組織が提案され、審議の結果これを承認した。なお国際交流委員会では、先方の状況によっては(同時期同会場で別行事開催との情報あり)ツアーの編成・募集を検討中であることが報告された。

<第 109 回大会>

第 109 回大会長より口頭で、数日前に JRC の訪問を受け打合せの機会を持ったことが報告された。

会期は 2015 年 4 月 16 日(木)－19 日(土)で確定あること等が報告された。

<第 110 回大会>

2015 年秋の大会につき、会長より大会長候補の提案があった。久々の北海道開催に賛意多々示され、これを承認した。

9. 委員会報告

<教育委員会>

資料に基づき、教育委員長より報告がなされた。11 月 10 日に委員会を開催し、今後の教育講演の検討、サマーセミナーの計画、大学院教育の調査、レジデントコース実施体制、医学物理コースの展望について討議したことが報告された。

サマーセミナーについては会計報告がなされた。スリーミングが未公開なるものの、現在の収支残ならば 3 か月くらいはできる見込みであることが報告された。

大学院のコース情報については、前回理事会以降更改したものが提示され、これを JSMP のホームページに「JSMP 調べ」の情報として公開することを可とした。公開に際しては、表示に工夫し、2 次情報なるものの JBMP の了解をとるべきことが指摘された。

<QA/QC 委員会>

資料に基づき、QA/QC 委員長より報告がなされた。粒子線治療 QA/QC ガイドラインの刊行見込について質問あり、冊子体を刊行の場合 JASTRO からの見込みとなったことが報告された。

また委員会活性化のためのサブグループ設置の検討が報告された。現在も JASTRO の治療分科会と連携して活動していることが報告された。

<編集委員会>

資料に基づき、編集委員長より「医学物理」誌の編集・刊行状況が報告された。33-2 は数日前に出来上がり会員に送達されたことが報告された。なお刊行ペースが未だ正常化しきれていないので、さらに努力を重ねることが報告された。

また J-STAGE のカレント誌登載が開始したが未だ全誌登載には至っておらず、編集事務局を督励して早く現

状に追いつくべきことに傾注していることが報告された。

<RPT 誌編集委員会>

担当理事より 2014 春大会で授与の土井賞の選考結果(3 件)が報告された。慎重審議の結果これを承認した。2014 年春大会授与の土井賞は、JSMP が当番に当たり、当学会が主導して運営することが報告された。また RPT 誌を AFOMP の official journal 化することにつき、同機構の会員購読につき、受付・決済の方法について検討中であることが報告された(JSRT は AFOMP には関係がないので、JSMP が当らざるを得ない)。

<用語委員会>

資料に基づき、用語委員長より現況報告がなされた。用語集改訂のため 2 日ばかり委員会を 9 月に開催し、年度内にさらに 1 回の開催を模索中であることが報告された。会長より改訂版の刊行について オンライン/冊子/CD 等のいずれを考慮中か質問あり、オンラインを基本として考えている旨回答があった。

<国際交流委員会>

資料に基づき、国際交流委員長より報告がなされた。

AOCMP2013 に当たり研究成果報告奨励金を募集したところ募集 2 に対して応募 1 であったこと、この応募は審査の結果支給相当であると認められることが報告された。審議の結果これを承認し、支給を実施すべきこととした。

またベトナム医学物理学会よりワークショップ(2014 年 2 月開催予定)への講師派遣協力依頼が到来したことが報告された。本件は、今春大会にベトナムからの来日・発表があったこと、次回 AOCMP がベトナム開催であることに鑑み、協力然るべしとされ、旅費については細則により、他については次回理事会に具体案提案を求めることとして、基本的に承認した。

<広報委員会>

広報委員長より口頭で、会員より指摘のあった、学会ホームページのトップページの見やすさ向上を作業しおえたことが報告された。

<防護委員会>

防護委員長より口頭で、「粒子線治療施設における放射化物の取扱いに関するガイドライン」の改訂版が学会ホームページに掲載になったことが報告された。

出席の理事より「放射線治療装置における放射化物の管理に関する学会標準」が未だ DRAFT であることにつき質疑あり。これについては進捗を聞かぬ旨回答があった。

<計測委員会>

計測委員長より口頭で、委員会開催報告、分科会の活動状況報告がなされた。

出席の委員長より治療施設へのアンケートの実施につき質問あり。これに対して委員会で検討の上、要協力の場合は依頼する旨回答がなされた。

10. 医学物理士認定機構の現状について

JBMP 庶務理事を兼ねる理事より、JBMP の直近の動きが報告された。先日の理事会で、新規認定 48 名、見込認定 18 名を承認したこと、資料不足の向きには再審査を案内することが説明された。

また診断・核医学については、拡大委員会を設け鋭意検討中であることが報告された。

11. その他

<会計概況報告>

資料に基づき、欠席の会計理事に代わって会長より報告がなされた。半期を過ぎて収入はほぼ年度見込み通り、支出については JJMP があと 2 号分刊行・発送、理事会をあと 2 回開催、委員会を必要回開催、委託費の下期分が見込まれているので、年度を通して見ると予算よりは圧縮できるものの赤字基調であることが指摘された。なお研究成果報告奨励金の特別会計は順調に推移していることが報告された。

<JARR 活動状況>

資料が JARR の JSMP 担当幹事である代議員(欠)より提出された。会長より今後の動きにより随時報告を求めべきことが説明された。

<他団体行事共催>

資料に基づき、庶務理事より 2014 年 7 月開催予定の行事について、従前同様に共催を受諾し、運営委員を推挙すべきことが提案された。審議の結果これを承認した。

なお、他団体連携に関連して、出席の理事よりマンモグラフィ精度管理中央委員会との連携状況につき質問あり。会長より情報収集の上然るべく措置する旨回答がなされた。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 16:45 に閉会を宣言して散会した。

議長 会長 _____ (印)

署名人 副会長 _____ (印)

署名人 監事 _____ (印)